

I 高度医療・先進的な医療提供体制の将来に渡る進展

項目	課題	内容
1	専攻医のシーリングについて	都において今後見込まれる医療需要の増加や、都内医療機関が担っている医師の派遣機能等に鑑み、専攻医の定員数及び採用者数の削減が行われないよう国、一般社団法人日本専門医機構に対し要望していく。
2	専攻医のシーリングについて	専攻医が希望する質の高い研修を受けられるようにするとともに、医療提供体制に深刻な影響を及ぼすことのないよう適切な制度運用を図ることが必要。

II 東京の特性を生かした切れ目のない医療連携システムの構築

項目	課題	内容
1	救急医療の充実	救急医療の将来予測は現状の1.7倍になっており、救急を増やさない仕組みを作るとともに、救命救急センター、病院診療所における救急医療を担う医師の育成が必要
2	救急医療の充実	高齢者のための救急医療需要は年々増加、その内容も高度化、多様化しており、柔軟に対応できる医師の育成が必要
3	小児科医	小児救急を担う医師の育成が必要
4	小児科医	医療的ケア児を含む在宅医療を担う小児科医師の育成が必要
5	へき地医療	へき地の医療機能を維持するため、計画的かつ継続的な医師確保等の取組みが必要
6	へき地医療	へき地での診療には、幅広い対応が求められるため、ICT、5Gなどを活用した診療支援や、専門医療や高度医療を担う医師の派遣等が必要

III 地域包括ケアシステムにおける治し、支える医療の充実

項目	課題	内容
1	総合診療医	在宅療養を希望する患者や認知症をはじめ複数の疾患を抱えながら地域で生活する患者の増加が予想され、地域の医療ニーズに的確に対応していく総合診療医の育成が重要
2	かかりつけ医	日常的な健康管理等を行い、必要な場合に専門的な医療につなぐ役割を担う、かかりつけ医の育成が必要。
3	公衆衛生医師の確保	自治体で保健医療福祉の幅広い分野に携わり地域医療や健康づくりを図る公衆衛生医師（行政医）の確保が必要
4	地域で公衆衛生を担う医師の育成	予防接種、学校医や産業医など、地域住民の健康づくりを支える公衆衛生を担う医師の育成が必要
5	死因究明	死因究明により得られた情報は、疾病の予防、事故の再発防止に役立つものであり、高度な専門知識を有する検案・解剖医の育成が重要

IV 安心して暮らせる東京を築く人材の確保・育成

項目	課題	内容
1	働き方改革	医師の働き方改革による勤務時間数の短縮や女性医師数の増加等、医師の勤務実態の把握を行い、医師の健康への配慮を行うとともに、地域医療体制の確保について検討
2	働き方改革	都内には大学病院や救命救急機能を有する医療機関が集中しており、超長時間労働の実態にある医師が多数存在していることが見込まれており、医師の働き改革に向けた取組を推進していく。
3	都民への普及啓発	患者が症状に応じた適正な救急医療を受けるよう、#7119救急相談センターや#8000子供の健康相談室（小児救急相談）を都民に普及啓発
4	医師確保施策・対策	医師奨学金制度（地域枠）、地域医療支援ドクターなどの医師確保策の検討が必要